

なごみ通信

パンマルシェ&なごみ祭り 開催

十月二十二日、偶数月に開催しているパンマルシェと、今回に限りなごみ祭り（夕涼み会）を同日に開催しました。

パンマルシェは通常通りの開催とし、その後のなごみ祭りはコロナ対策の為、工房利用者さん、スタッフのみで行いました。

何よりもまずは腹ごしらえということ

で、買い物券（五百円分）と足りない分はお小遣いを使って、クレープ屋さんやコーヒー屋さん、駄菓子屋さんなどのお店でそれぞれ思いのまま好きな物を買って青空のもとランチをみんなで食べました。美味しくいただいたその後は、お楽しみの有志による歌と踊り、キーボード演奏でした。人前ということでもみんな普段より少しかたくなっていたけど、全力で披露してくれました。



第 52 号

発行日

令和 4 年

11 月 26 日（土）

社会福祉法人

なごみかぜ

なごみかぜ工房

0538-45-2771



そして、最後の催しとしてじゃんけん大会を行いました。大場さんとじゃんけんをして勝った人から空くじなしのくじ引きがひけるといふもの。豪華景品の内容はとうとうと：なごみカフェでのお食事券やパン交換券等でした。

気持ちいい秋晴れの中だなごみ祭りを開催でき、まだ先の見えないコロナ禍を少しでも晴れやかな気持ちで皆さんが過ごしてもらえたのであればスタッフ一同うれしく思います。



ブドウの販売、大好評!!

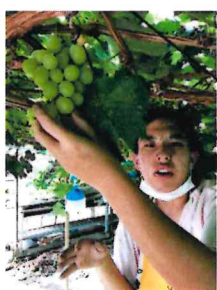


早川様宅のハウスで栽培されているブドウを今年から法人でお手伝いし、収穫、販売をしています。栽培しているブドウの種類はシャインマスカット、巨峰、ピオーネです。

八月のお盆を過ぎた頃より、収穫が始まりました。



今年は法人内での販売が中心となりましたが、皆さんに甘くて美味しいと言ってもらえました。外部では、袋井市役所しあわせ推進課の方々にもたくさん買っていただくことができました。また、来年の収穫に向けて、剪定や摘果などの作業もコツコツ頑張っていきたいと思えます。



防災訓練を行いました



十一月五日、工房で防災訓練を行いました。作業中に地震発生、その後火災発生により、すぐに建物外へ避難。安全な場所へ避難した後は、スタッフによる点呼とともに状況確認。煙を吸ってしまった人、骨折や擦り傷といった負傷をしてしまった人が出たという想定で、スタッフによる応急手当訓練を行いました。



訓練の際、毎回感じることは、訓練でできないことは実際の災害時にはできることではないということです。こうした貴重な訓練をおろそかにすることなく、繰り返し返しの訓練で十分な備えをしていきたいと思えます。



最近の畑の様子



工房の畑でも晩秋を迎え、

野菜たちが冬支度しているであろう様子が見てとれます。

今年の夏は雨が多く、野菜たちもどことなく様子がおかしくて、日照不足に加え湿気を含むじめじめとした気候にとまどっているようでした。そんな中でも、ピーマンやししとう、オクラ、バターナッツかぼちゃ、モロヘイヤなどは勢いがすごくて、たくさんさんの収穫をいただくことができました。



冬に向けての野菜は9月の台風の影響を受け成長が思うように進んではいませんが、少しでも恵みをいただけるようみんなの手を貸して成長を助けていこうと思えます。



クラウンメロン頂きました



十一月一日 メロー静岡(袋井店)様より、当法人へクラウンメロン三〇玉を頂戴しました。法人を代表して、なごみかぜ工房と風の森より六名で伺いました。たくさんさんのメロンを頂戴し、みんなでも美味しくいただきました。どうもありがとうございました。



〈寄与品〉



今井福祉部 鈴木様(金一封)
駄菓子やっこ 榛葉様(金一封)
玉川様(毛布)
メロー静岡様(クラウンメロン)
後援会長 戸倉貢様(みかん)
ありがとうございました。

〈ボランティア通信〉



末廣拓様
ご協力ありがとうございました。